

健康には、運動と栄養が必要ですが、子どもさん達には、とりわけ必要なものです。子どもの頃から、おいしいごはんを好きなだけ食べられる子どもさんは、たいへん幸せです。

おいしいごはんをおなかいっぱい食べられないと、心に渇きが生まれ、身体と心の「はぐくみ」がうまくいきません。

子どもさん達は、それぞれの環境によって、いつも好きなだけおいしい「食」を口にすることができるわけではありません。子どもの頃に、子どもさん達にひもじい思いをさせることはよくありません。

奈良県は、「すべての子どもさん達が、すくすく育ってくれるように」との願いを込めて、おいしい食事をこども食堂などを通じて、お届けしていきたいと考えています。こども家庭相談センターの食堂を改修して、おいしい食事と楽しい会話ができる場にした時の、子どもさん達の幸せそうな笑顔が忘れられません。

良い食事の思い出は、一生の力となります。

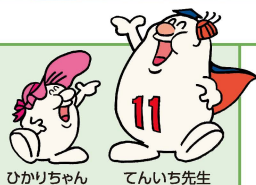


奈良県知事

荒井正吾

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



新型コロナウイルス感染症をきっかけに縮まる心の距離

新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きく変わりました。未知のウイルスに対して、情報が日々変化し行きかう中、多くの方が不安な生活を送っています。日本で暮らす外国人の方々はどうでしょうか。マスク着用の情報が正しく伝わらなかったり、病院への電話がうまくできなかったり、言葉や文化の違いなどから、戸惑いや不安を感じる人が多いのではないのでしょうか。

奈良県では、在住外国人の方向けに、新型コロナウイルス感染症の情報を、やさしい日本語を含めた多言語で発信しています。また、JR奈良駅近くには「奈良県外国人総合相談窓口」を設置し、さまざまな相談に対応しています。

しかし、身近な存在である、同じ地域にお住まいの

方々からの温かい声かけほど、母国を離れて暮らす外国人の方にとって、心強いことはないと思います。不安な気持ちはみんな一緒です。このコロナ禍で共に暮らす者として、何か困っている外国人の方を見かけたら、声をかけてみませんか。

ソーシャルディスタンスは取っても、心の距離は縮めて、一緒に新型コロナウイルス感染症を乗り越えていきましょう。

今月のポスター



奈良市立佐保川小学校 5年
竹本 天音さん



橿原市立真菅北小学校 6年
小野 結愛さん

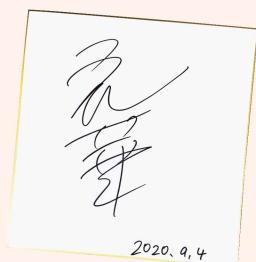
※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

高橋礼華さんの
サイン色紙を
3名にプレゼント!

締め切りは3月31日(消印有効)



○にあてはまる文字を答えてください。

Q 子育て家庭を見守る活動として期待されているのは?

A ○○○ 食堂

ヒントは
2ページ

1月号の答えは「桜井」でした。応募総数1793件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。
④www.pref.nara.jp/30222.htmからも3/1以降応募できます。
※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。